

●「第 38 回さっぽろホワイトイルミネーション」について

大通公園をメイン会場に、2018 年 11 月 22 日から 2019 年 3 月 14 日まで「第 38 回さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。

「さっぽろホワイトイルミネーション」は、観光都市・札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信しています。

今回から、11 月 22 日から 12 月 25 日までの間、大通公園 2 丁目で開催される「第 17 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」と一体化を図り、ドイツの伝統的なクリスマスピラミッドをモチーフにした新たなシンボルオブジェが登場します。

また、2006 年度以降、チ・カ・ホの工事開始に伴い、中央分離帯への装飾を行っていなかった北大通から北 3 条間のイルミネーションを復活させることにより、JR 札幌駅南口からすすきのまでの中心街全体を華やかに彩ります。

2018 年 10 月に「日本新三大夜景都市」として再認定された、札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を、多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでもらいたいと考えています。

1 会場・会期

会場名	場所	会期
大通会場	大通公園 1 丁目 ～6 丁目	11 月 22 日 (木)～ 12 月 25 日 (火) [34 日間]
駅前通会場	北 4 条～南 4 条	11 月 22 日 (木)～ 2019 年 2 月 11 日 (月・祝) [82 日間]
南一条通会場	南 1 条西 1 丁目 ～3 丁目	11 月 22 日 (木)～ 2019 年 3 月 14 日 (木) [113 日間]
札幌市北 3 条広場 (アカプラ)会場	北 2 条西 4 丁目、 北 3 条西 4 丁目	
札幌駅南口 駅前広場会場	北 5 条西 3 丁目	

2 点灯時間・使用電球個数

(1) 点灯時間

- ① 大通会場・駅前通会場・南一条通会場 16：30～22：00

※12 月 22 日 (土)～25 日 (火) は 16：30～24：00

- ② 札幌市北 3 条広場(アカプラ)会場 16：30～22：00

※2019 年 2 月 1 日 (金)～12 日 (火) は 20：00～24：00

※2019 年 2 月 13 日 (水)～3 月 14 日 (木) は 17：00～22：00

- ③ 札幌駅南口駅前広場会場 17：00～24：00

※2019 年 2 月中旬以降は日没後点灯

(2) 使用電球個数：約 81 万個

※過去 2 番目の多さ (過去最多は 2016 年度の約 83 万個)

3 大通会場（1～6 丁目）コンセプト

(1) 1 丁目会場「約束の『ラブ・ツリー』」

テーマは「LOVE」。赤く輝くハートがモチーフのラブ・ツリーとハート型のフォトスポットを会場中央に設置するほか、会場テーマの赤を基調としたグランドイルミネーションを設置する。



(2) 2 丁目会場「第17回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」

ドイツの伝統的なクリスマスピラミッドをモチーフにした新規オブジェ「Gift of Snow」と、ドイツのクリスマス市で使われるヒュッテ（小屋）を設置し、これまで以上に本場ドイツの雰囲気を楽しむことができる。



(3) 3 丁目会場「花咲く『ブルーミング・ファウンテン』」【新規】

会場中央の噴水にライラックの花をモチーフにした大型の新規オブジェを設置する。花と季節の移ろいを光と音の演出で表現するほか、ライラックをモチーフとしたフォトスポットや、ブルーを基調としたグランドイルミネーションを設置する。



(4) 4 丁目会場「輝きの『ジュエリー・パレス』」

ダイヤモンドをモチーフにした光の宮殿「ジュエリー・パレス」や光の噴水「スパークファウンテン」が、それぞれゴールドとピンクに光り輝く。また、パープルとピンクを基調としたグランドイルミネーションも設置する。



(5) 5 丁目会場「微笑みの『トゥインクル・ガーデン』」

ゴールドに輝くシンボルツリーやグランドイルミネーションを設置するほか、ホットドリンクやフードを楽しめる。また、来場者が撮影を楽しめるガーデン風フォトスポットを設置する。



- (6) 6 丁目会場「煌めきの『フォレストサークル』」
大きな樹木が立ち並ぶ空間で、グリーンに輝く光の迷路を設置する。白いシャイニングボールやグリーンを基調としたグランドイルミネーションも設置する。



4 大通公園 2 丁目会場における「第 17 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」

(1) 開催期間

11 月 22 日（木）～12 月 25 日（火）（34 日間）

(2) 開催時間

11：00～21：00（飲食店のラストオーダー20：45）

(3) 出店舗数

	海外出店者	国内出店者	合 計
物品販売店	4 店舗	16 店舗	20 店舗
飲 食 店	2 店舗	12 店舗	14 店舗
合 計	6 店舗	28 店舗	34 店舗



(4) 各種イベント

全 140 回のイベントを開催。屋外ステージや屋内施設「ヴァイナハツパビリオン」において、ドイツやミュンヘンの雰囲気を感じることのできるイベントを多数開催する。

① プレゼントデー（全 10 回）

日時：毎週日曜日（最終日除く）

（11 月 25 日、12 月 2 日、9 日、16 日、23 日）

12：30～、14：00～

場所：屋外ステージ

内容：各店舗で 1,000 円以上お買い物をした方の中から抽選で素敵な景品をプレゼント。さらに 12 月 16 日と 23 日には、5,000 円以上お買い物をした方の中から、札幌・東京往復航空券を抽選でプレゼントする（各日 1 本）。



② まちめぐりグリューワインラリー

ドイツのクリスマス文化を象徴するグリューワインを提供する店舗を巡るスタンプラリーを実施。今年は、来場者の回遊性を高めるため、会場周辺の店舗と連携する。素敵な景品をプレゼント。

③ 平日の昼割限定ワンコインプレート【新規】

日時：クリスマス市開催期間中の平日 11：00～13：00

内容：会場内フードブースにおいて、ランチタイムにワンコイン（500 円）ランチプレートが新登場。

④ ミュンヘン・クリスマス市福袋【新規】

日時：クリスマス市開催期間中の平日

内容：クリスマス雑貨やオーナメントなど 3,000 円相当の商品が入った福袋を 1,000 円で販売。各店舗 1 日 3 個限定。お一人様 1 店舗 1 回限り

(5) 市民参加の取り組み（食器洗浄ボランティア）

公募によるボランティアに、会場で使用するリターナブル食器（洗って再利用できる食器）の回収や洗浄を行っていただく。（ボランティア募集期間：10 月 31 日～12 月 24 日）

5 駅前通会場

JR 札幌駅前からすすきのまでの中央分離帯の立木に LED 装飾し、札幌の冬のメインストリートとする。今回は、2006 年度以降、チ・カ・ホの工事開始に伴い、装飾できていなかった北大通～北 3 条の中央分離帯の立木にも新たに LED を装飾する。



6 南一条通会場

南 1 条西 1 丁目～3 丁目間の、南北歩道両脇の街路樹（イチョウ）に LED を装飾する。



7 札幌市北 3 条広場（アカプラ）会場・札幌駅南口駅前広場会場

2017 年度から 2 つのイルミネーション会場を、さっぽろホワイトイルミネーションの会場として追加。札幌の中心街を一体的なイルミネーションの幻想的な光で彩る。

(1) 札幌市北 3 条広場（アカプラ）会場「アカプライルミネーション」

北海道に現存する最古の街路樹である、アカプラのイチョウ並木を光で演出する。

変幻自在な色を表現できる LED を用いたイルミネーションのほか、色が変わるスポットライトなどを設置し、北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）を望む札幌を象徴する美しい景観を一層鮮やかに演出する。

また、サウンドアーティストの大黒 淳一氏による音楽と光を連動させた演出を行う。



(2) 札幌駅南口駅前広場会場「エキヒロイルミネーション」

JR タワー外壁に面したプラットフォームや、メインとなる高さ 10 メートルのデザインツリーの光の装飾により、札幌の玄関口を華やかに演出する。



8 点灯式

- (1) 日時：11 月 22 日（木）16：30～17：00（点灯は 16：50 頃を予定）
- (2) 場所：大通公園西 3 丁目「ブルーミング・ファウンテン」前
- (3) 内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介等

9 環境に配慮した取り組み

(1) LED 電球の使用

会場内で使用する全ての電球について、白熱電球に比べて消費電力が少ない LED 電球を使用する。

(2) バイオディーゼル燃料（BDF）による発電

大通公園に発電機を設置して、大通会場 1 丁目・3 丁目・4 丁目で使用する電力の約 8 割を自家発電で賄う。燃料には、ミュンヘン・クリスマス市会場内店舗や市民から回収した廃食油から精製した BDF を使用する。

(3) ペレットストーブの設置

ミュンヘン・クリスマス市会場内施設「ヴァイナハツパビリオン」の暖房に、北海道木質ペレット推進協議会の協力により、間伐材などを加工して作られる木質ペレットを燃料とする環境への負担が少ないペレットストーブを使用する。

(4) カーボンオフセットの実施

ミュンヘン・クリスマス市会場で使用した電力量から算出した二酸化炭素の排出量に相当するクレジットを購入し、環境に配慮した取り組みを行う他の事業を支援することで、排出量の埋め合わせを行う「カーボンオフセット」を行う。

＜参考＞

1 さっぽろホワイトイルミネーションについて

日本初のイルミネーションとして、1981年にわずか1,048個の電球で始まった「さっぽろホワイトイルミネーション」は、札幌の美しい雪景色を光で表現するというユニークなコンセプトにより、当時全国的に大きなインパクトを与え、日本中にイルミネーションが広がる先駆的な役割を果たしてきた。

その後も、LED化やバイオディーゼル燃料を取り入れながら進化を続け、観光都市札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信している。

また、2017年10月20日には、夜景観光における国内唯一の事業団体である一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローから、長崎県「ハウステンボス『光の王国』」や栃木県「あしかがフラワーパーク『光の花の庭』」とともに「日本三大イルミネーション」に認定された。

2 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo について

札幌市とドイツ・ミュンヘン市の姉妹都市提携30周年を記念して2002年に始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は、ドイツの伝統的な年中行事の一つであるクリスマス市を大通公園で再現することによって、市民が異文化に親しむ機会を提供するとともに、観光閑散期である初冬の集客交流促進のために発展してきた。2017年度は134万1千人が来場（過去最多は2015年度の約138万1千人）。

問い合わせ先

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 前・尾上
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 大内・伊倉
電話：211-2376、ファクス：218-5129